

宇都宮市立横川中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初めに家庭学習に関する保護者あてに通知をするなど、家庭・保護者と連携をとりながら、家庭学習や自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を随時行っている。	「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は95.1%であった。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は80.5%であった。
授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実	授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容を振り返り、課題の解決に向けて、自分で考え取り組むことができるようにしている。	「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は87.8%であった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・教科に関する調査からは、国語・社会・算数・理科の4教科の平均正答率は市の平均正答率を上回る結果となった。引き続き、各教科・各単元の結末を中心に学習内容のまとめや復習を繰り返し行うとともに、学期末には複数単元の内容をまとめて復習することで、各単元の内容を確実に身に付け、基礎・基本の着実な定着を図ることを目指すことができるようにする。さらに、各単元の始めには、今までの学習内容を復習する機会を随時設定することで児童一人一人に興味や関心をもたせるようにするとともに、各自が自主的に学習を進め、基礎学力を確実に身に付けることができるようにしていく。